

令和7年度 大黒屋光太夫記念館 特別展
「漂流と知の邂逅：芝蘭堂新元会と蘭学の時代」について

1 趣 旨

江戸時代にロシアへ漂流し、10年の歳月を経て帰国した大黒屋光太夫。彼の異国体験は、帰国後に日本の知識人たち、特に蘭学者に衝撃を与えました。光太夫の実体験は、蘭学が単なる書物の知識から実地の世界知に進化する契機となったのです。

本展覧会では、芝蘭堂新元会図をてがかりに、帰国後の光太夫の交流をたどりながら、彼が日本の知識人に与えた影響と蘭学の展開を通観します。この展覧会を通じて、漂流という偶然の体験が知識体系の変容につながったことを示し、日本における近代的世界観の胎動を紹介します。

2 開催期間

令和8年1月22日（木）～3月15日（日）

開館 10:00／閉館 16:00

休館日：月曜日（2月23日（月・祝）は開館）・火曜日・第3水曜日

3 会 場

大黒屋光太夫記念館 展示室

所在地 鈴鹿市若松中一丁目1-8 TEL・FAX 059-385-3797

4 入場料 無料

5 展示説明会

会場で、学芸員による展示説明会を開催します。

日時：令和8年2月13日（金）13時30分～30分程度 ※無料・申込不要

6 図録 500円 400冊

7 主 催 鈴鹿市

助 成 公益財団法人 岡田文化財団

8 その他 令和8年3月7日（土）に関連イベントとして、鈴鹿サウナデーを実施します。（詳細は後日、お知らせします）

【問合せ】文化財課 大窪、西出、代田（学芸員・展示担当者）

電話 059-382-9031